

徳之島の報

2011
4月号
№443

編集・発行 徳之島町役場 企画課 〒891-7192鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL (0997) 82-1111 (代) FAX (0997) 82-1101
ホームページアドレス <http://www.tokunoshima-town.org/>



島口・島唄の伝承を目的とする「島口・島唄の祭典」が2月20日行われました。

徳之島町の現勢

面積 104.87km²
人口 12,117人
男 5,913人
女 6,204人
世帯数 5,235戸
平成23年 3月 1日現在
(平成22年国勢調査を反映)

今月の主な内容

平成23年施政方針 P2～P5
教育委員会だより P6
まちの話題 P7～P8
お知らせコーナー P9～P13
戸籍の窓・我が家のアイドル P14

平成二十三年 施政方針



高岡 秀規 町長

平成23年第1回定例議会の開会にあたり、予算(案)を提出し、平成23年度の町政に關します施政方針を申し上げ、町議会並びに町民各位のご理解とご協力を仰ぎたいと思います。

私も町長に就任して早や一期目の3年8ヶ月になり、その間、皆様方の多大なる御協力により、当初のマニフェストに掲げました、行財政改革・農業の振興・福祉の拡充・教育の充実等の政策を計画通りに進めることができました。ここに衷心より感謝申し上げます。

まず、昨年を振り返ってみますと、平成22年1月に米軍基地移設問題、4月には口蹄疫問題、10月に奄美豪雨災害、11月に延坪島砲撃事件、鳥インフルエンザ、本年1月は新燃岳の300年ぶりの本格的マグマ噴火など、夏は記録的な猛暑、冬は11

0年ぶりに奄美本島湯湾岳に雪が降り全国的にも記録的な豪雪と、国内外を取り巻く環境はあらゆる面で一年にもまして激動の一年でありました。基地問題に關しましては、民意を第一義に三町一丸となつて一貫して反対をしていく決意であります。また、口蹄疫・奄美豪雨災害・鳥インフルエンザにおきましては、被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、わが町におきましては、昨年3月の第1回定例議会におきまして「徳之島町ゴミのポイ捨て及び飼養動物等のふん害防止に關する条例」を可決制定していただき、環境にやさしい町づくりに実質的な取り組みを開始いたしました。環境に対する意識を向上していただくために11月には、「人と環境にやさしいまちづくり宣言」を行い、町内外に広くアピールいたしました。このことは島の宝である貴重な自然を守り後世に残していく、世界自然遺産登録へむけての取り組みにもなるものであります。10月には公共下水道事業の町浄化センターの通水式、11月には町加工センターの起工式が行なわれ、本年6月の完成にむけて工事が

進められております。また、徳之島町情報通信基盤整備事業もスタートし、本年4月より光インターネットがつながります。この情報通信網の整備により情報格差の是正や、企業誘致による雇用の創出につながるものと大きく期待をしております。

現在、日本国内ではT P P (環太平洋戦略的経済連携協定) 問題が盛んに議論され、農業や関連産業への影響等で、その締結は難航することが不可避の情勢であります。インドのスワミナサン博士の言葉に「農業を大切にしない社会は、命を粗末にする野蛮な社会となり、全ての面で行き詰まる」とあります。農は食であり食は命であります。つまり農は命をつなぐものであります。T P P 問題には一貫して断固反対を強く訴えてまいります。

わが町の今後の基本方針は、まず第一に農業の活性化です。そして福祉の拡充で、経済の発展と雇用の拡大につなげていくことを基本路線とし、その上に平和・教育・文化の花を咲かせ、「健康で明るく住みよいまちづくり」へ向けてさらに力を注いでまいります。

それでは、平成23年度予算(案)の

概要をご説明申し上げます。一般会計当初予算においては、予算総額62億1千4百万円で前年度比7千2百万円の減額、1・2%の減であります。新年度の主な事業は、徳之島町総合食品加工センター「美農里館」の継続整備とT M Rコントラクター事業の導入・緊急ヘリポートの整備等です。

今回の予算査定においては、予算の見直しにより町補助金や公債費の削減等を行い、財政の健全化に努めてまいりました。歳入では町税・使用料・負担金の確保に向けて滞納処分や給水停止を実施、引き続き努力をしてまいります。なお、「行政改革大綱」で示された事務事業の見直しでは昭和53年に開園した特別養護老人ホーム「徳寿園」の民間委譲を実施し、都市開発課を建設課に統合します。今後も引き続き「第4次徳之島町行政改革大綱」の中で示された透明性の高い行政体制をめざし、組織機構の見直しや適正な定員管理及び適正な給与水準等、財政の健全化に努めてまいります。また、各種の職員研修をとおして職員の意識改革や共生・協働の町づくりも強力に進めてまいります。

次に本町の農業振興についてであります。23年度は食料自給率向上・産地再生緊急対策交付金事業を活用し、コントラクター（粗飼料生産受託組織）と飼料生産供給施設を整備いたします。

現在、肉用牛繁殖農家は、牛に給与する牧草を自ら栽培・収穫しサイレージや乾草飼料とするために、農家毎に農機具を導入しています。小規模な経営農家にとっては、コストがかかり、栽培・収穫作業にも労力がかかる等の課題があります。そこで、最近の飼料価格高騰や高齢化の進行を背景として、牧草の栽培・収穫・調整作業を畜産農家に代わって専門的に請け負うことによって、畜産農家の生産コストの低減と、家族労働時間の低減・軽労化を通じて、牛群管理の徹底による経営全体の収益性の向上を図ります。

また、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業で建設中の、徳之島町総合食品加工センター「美農里館」が23年度完成いたします。この加工センター建設事業は、本町の基幹産業である農業を生かし、新たな特産品や加工品を開発し、販路拡大を行い、地域の魅力を島内外に発信し、地域資源のブランド化を促進します。そして地元農林水産物資源

を、様々な産業・分野と連携し、新たな付加価値を生み出していく、第6次産業化を目指します。また、農産物のさらなる品質向上と安定生産を図り、安心安全な高付加価値の特産品を研究・開発・販売をおこなうことにより、地域産業経済の活性化・地域雇用の創出・担い手の確保と育成につなげてまいります。これにより、過疎化対策の推進が図られ、さらには農業収入の向上・安定や遊休地の活用など基幹産業である農業の振興・活性化に大きく寄与することができると思います。

マンゴーの栽培につきましては、栽培面積の拡大のため、ハウスの整備が不可欠で、奄美農業創出支援事業を活用し中期展張Ⅱ型ハウスを導入し、農家の所得向上と、経営安定を図ります。

バレイショ・ニンジンにおいては、栽培技術の向上による「収量アップ」「商品化率の引き上げ」による農家経営の安定に努めるとともに、土壌診断を踏まえた適正施肥による、コスト削減対策や消費者の求める安心・安全な野菜を提供するため、「かごしま農林水産物認証制度」の再取得など、関係機関一体となって、ブランド産地指定に向けた取り組みを推進してまいります。

今後も農業振興と雇用確保・産業の活性化の為に、21年度採択された、厚生労働省の地域雇用創造推進事業と新たに採択を目指す地域雇用創造実現事業を活用して、地域人材の育成に努めるとともに、果樹・園芸などにおいては、化学肥料や農薬の低減など環境保全型農業を推進していきます。

漁業、水産業についてであります。22年度に浮き漁礁設置事業をおこなう、23年度も引き続き浮き漁礁の設置をおこなう他、スジアラ・シラヒゲウニ・夜光貝の稚魚・稚貝の放流など様々な取り組みをおこない、漁獲高の増加、漁家所得の向上を図ってまいります。

次に商工業の振興につきましては、22年度に亀津中央通り商店街活性化事業により夏と年末にイベントを開催、鹿児島県地域経済活性化販売促進緊急支援事業で徳之島町口蹄疫対策プレミアム商品券を町商工会から発行いたしました。商店街が地域住民の交流の場として、また、物流の中心地として活性化し、地域経済の発展につながるよう努めてまいります。

次に、地域福祉の充実についてであります。本町の高齢化率は26・8%（平成22年12月1日現在）で、4

人に一人以上が高齢者で、今後とも高齢化率は国・県に比較してその伸びを上回る勢いでの進行が予想されます。

高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して生活ができる地域社会の実現をめざして高齢者福祉の推進を図ってまいりましたが、本年度は第5期老人福祉計画及び介護保険事業計画策定年度ともなっていますので、多様化・複雑化する超高齢化社会の到来に対応できるよう、地域包括支援センターと協力し事業計画策定を進めてまいります。また、継続して地域支援事業の充実を図るとともに、一人世帯老人、寝たきり老人等の見守り活動の推進を図ってまいります。さらに、昨年度整備された災害時要援護者登録台帳をもとに、要援護者一人ひとりの避難支援対策を具体的に進めていくための個別計画を作成してまいります。

近年、急速に進行する少子化は徳之島町においても例外ではありません。平成22年3月には「徳之島町次世代育成支援行動計画（後期計画）」を策定し、各種支援施策に取り組みしておりますが、本年度も、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育成されるようファミリーサポートセンター事業をはじめとし、地域子育て

創生事業への助成等子育て支援事業を推進してまいります。

障がい者支援につきましては、平成19年3月に「徳之島町障がい者計画及び障がい福祉計画」を策定し、障がい者福祉の向上に取り組んでまいりましたが、23年度より、腎臓移植手術及び移植後の免疫抑制療法等の治療を受けるための旅費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、もって生活の安定と福祉の増進を図ってまいります。また、障がいのある方々が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう23年度は、「第3期徳之島町障がい者福祉計画」を策定し、多様化する個々の状況に応じた施策を推進してまいります。

保健事業につきましては、保健センターを拠点として各種保健対策事業を推進しております。平成21年度から平成23年度における県のモデル事業として地域ぐるみ歯科保健対策推進事業を実施し、住民と関係機関が協働して5歳児を取り巻く歯科保健課題を解決するとともに、住民自らの歯科保健認識を高める取り組みを行っております。本年度は、新たにヒブワクチン接種費用及び小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の一部または全額助成することで、より多くの乳幼児がワクチンを接種しやすい

環境を整え、ヒブや肺炎球菌の感染による細菌性髄膜炎での乳幼児の死亡や重度の後遺症の発生を抑えてまいります。また、平成22年度実施した特定健診未受診者の未受診要因の分析を基に、健診勧奨のためのアプローチ方法を検討し、受診率の向上に努めてまいります。

また、重症救急患者等の救急搬送体制の環境整備につきましては、平成19年3月の自衛隊ヘリの事故を受け、かねてより要望の声が高まっております。救急ヘリポート建設を平成23年度事業として実施いたします。これにより救急搬送ヘリの安全な離着陸が確保され、搬送時間の短縮による救急患者の身体的負担の軽減と、より早い救命措置により、1人でも多くの人命救助につながるものと思います。

次に、生活環境の整備についてであります。平成22年3月に「徳之島町ゴミのポイ捨て及び飼養動物等のふん害防止に関する条例」を制定、廃プラスチック油化事業や11月には、「人と環境にやさしいまちづくり宣言」及び条例の制定を行い、ごみの減量や低炭素社会の実現へ向けて努力しています。今後も先祖が残してくれたすばらしい自然環境を守っていくために、住民への広報や啓

発のための看板の設置などをおこない、根気強く周知活動に取り組んでいきます。

近年、化石燃料の大量消費に伴う温室効果ガスの増加による地球温暖化が深刻な問題になっていきます。わが町におきましても、22年度に「地域新エネルギービジョン」を策定いたしました。今後、化石燃料に替わる新エネルギー等の導入促進に取り組む、省エネルギー・循環型社会の構築と環境の保全に努めてまいります。

公共下水道については、平成17年度末より着手し平成21年度末に一部供用開始を行い平成22年4月より浄化センター（最終処理場）が稼働し本格的に下水道事業運営がスタートしました。平成23年度は、浄化センターの22年度繰越分の汚泥脱水機工事と管路工事は引き続き亀津埋立地を中心に整備計画をしているところであります。管路工事が完了した地区では、順次供用開始し下水道加入可能世帯を戸別訪問し下水道への加入接続のお願い等加入促進に努めてまいります。

工事期間中は住民の皆様大変ご迷惑をおかけしますが、生活環境の向上と衛生的で自然にやさしい住居環境をつくる為の事業でありますのでご理解とご協力をお願いします。

でご理解とご協力をお願いします。

公営住宅につきましては、公営住宅ストック総合改善事業や住宅・建築物安全ストック形成事業で老朽化した住宅の全面的改善に取り組みしました。それにより、住宅環境の向上、建物の躯体の安全性確保、バリアフリー化で高齢者・身障者等の快適な生活空間の実現が図られました。また、移転者の戻り入居により、地域の活性化と定住促進につながりました。23年度も公営住宅ストック総合改善事業で住宅の改善・トイレの水洗化・合併浄化槽設置などを行ないます。

交通基盤の整備につきましては、22年度に地方道路整備事業を活用し亀津蔵越線改良舗装工事の用地購入及び建物補償をおこない、23年度に改良舗装工事に着手いたします。このことにより、歩行者や通行車両の安全と利便性を確保いたします。

次に、情報通信基盤の整備であります。22年度は徳之島町情報通信基盤整備推進交付金事業で、本庁・支所・小中学校・その他の公共施設間を光ケーブルで接続し行政、福祉、教育、防災などのサービスの向上を図るためのケーブル配線工事を開始いたしました。また、町で整備する光ケーブルを民間通信事業者へIR

U（長期間契約）によって貸し出し、本町内の亀津市街地地区及び亀徳の一部にて光インターネットのサービスを提供します。この事業により、本庁・支所などの出先機関が光ファイバーケーブルで接続されることとなります。行政情報を高品質かつ高速で送受信できるようになることで、住民への行政サービスの向上が期待できます。また、小中学校においても、学校間が高速ネットワーク化されることで、学校教材の共有やICTを活用した学校間交流・教育コンテンツの利用など、地域の教育の高度化が期待されます。

また、平成23年4月から光インターネットのサービスが本稼働します。このことにより、地域住民の生活の向上や地域経済の活性化・産業の振興など、地域づくり・人づくりも期待できます。

次に観光振興についてであります。22年度に奄美群島観光地整備事業でなごみの岬公園トイレ新築工事、県地域振興推進事業で母間花時名地区展望台施設整備、緊急雇用創出事業でタウンマップ作成を行ないました。また、徳之島観光連盟が主体となり徳之島三十三ヶ所名所旧跡めぐり看板設置等をおこない、観光地の整備と観光客誘致の為の環境整備を

おこないました。また、今年3月の新幹線鹿児島ルート全線開通を見越し、昨年鹿児島にオープンしたアンテナショップ「旬華」をキーステーションに徳之島への観光客誘致を図り、入込み客の増加を目指します。次にスポーツ・文化・教育分野について申し上げます。スポーツについては22年度は近畿大学及び樟南高校相撲部、日本ハム・巨人・オリックスのプロ野球選手、サッカーの名古屋グランパスや女子陸上選手などが自主トレでスポーツ合宿を行ないました。今後も、交流人口の拡大で観光の振興・地域の活性化を推進してまいります。

文化活動においては、町文化会館や町生涯学習センター・各集落公民館等を中心に広く文化活動が推進されており、町内のみならず、島全体の文化水準は益々向上しております。また、伝統文化の継承は後継者不足が危惧されますが、子供会や学校教育現場・様々な地域行事の中で伝承が推進されつつあり、長寿・子宝という、地域の財産も総合的に活用しながら、地域文化の発展に鋭意努力してまいります。

教育分野につきましては、本町の教育行政の喫緊の課題であります児童生徒の基礎学力の定着と学力向上、

生徒指導の充実、そして、教育の場としてふさわしい学校の創造に向けて取り組んで参ります。

まず、ソフト面においては、郷土の教育風土としてのヤンキチシキバンの子育て精神を学校・家庭・地域に復活させ、学力の回復と更なる向上を図るために、学士村塾の発展的継続、インターネットを活用した学習機会の提供、特別に支援を要する児童生徒への支援体制の継続、児童生徒や教職員が意欲を持って取り組み、その結果が報われる施策の実施等、学校・家庭・地域・行政が強い連携の下に取り組んでいきます。

次に、ハード面においては、学校施設の補修に力を入れて参ります。屋内運動場の補修工事として、井之川中学校、母間小学校の外壁・窓の改修、山中学校の屋根の改修。尾母小中学校の床の改修をいたします。そして、各学校の備品等の整備も順次おこなって参ります。

「教育は百年の計」、徳之島町の将来を担う子どもたちの教育のために、教育の重要性を認識し、教育環境の整備、教育諸条件の充実に力を注いでいきます。

まさに、教育こそが地域発展の要・人材育成の根本であり、「大事をなすには必ず人をもって本となす」

との格言にもありますように、今後は教育に力を入れていきたいと考えております。先にも述べましたが、今年4月にスタートします光ファイバー情報通信網を活用し、国際感覚豊かな視野の広い子どもたちの教育に力を入れてまいりたいと思います。そして、力強さと謙虚さを兼ね備えた、逞しく世界に通用する社会人になってもらうための教育を目指してまいります。

さて、冒頭部分でも申し上げました、「平和」「教育」「文化」でございしますが、わが町におきましては、文化の砦は町文化会館、教育の砦は生涯学習センターであります。そして、平和の砦は「人の心の中」にあると思います。平和の対極は戦争です。ユネスコ憲章に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」とあります。各集落公民館等を活用し、地域コミュニティや様々な機会をとおしながら、人権・生命尊厳・反戦・非暴力・ボランティア精神・ユイの心等、「心の醸成」をしていくことが大事だと考えます。そして、人それぞれの持てる力を発揮し味わいのある色とりどりの華を咲かせながら、「住みよい」「住みたい」まちづくりに取り組んでいきま

す。

おわりに、トルストイの言葉の中に「社会の改善を望むなら、その成否は、すべての人がよりよくなることに掛かっており、そのためには『自分がよりよき人になることである』まず隗より始めよ、これなくしては、いかなる社会改革も画竜点睛を欠くことになるのだ」と、この事を肝に銘じ、まず自分自身が先頭に立って町民の皆様の幸せの為に、心労を尽くしていく決意を新たにいたしております。

国内の景気も徐々に回復の兆しがかすかに見えはじめておりますが、いまだ先行きの不透明感はぬぐえない状況です。足元をしっかりと固めながらも、常に先々を見据えて「健康で明るく住みよいまちづくり」「人と環境にやさしいまちづくり」を指して町民の皆様、出身者の皆様の声を聞き智慧を頂きながら、取り組んでいくことを申し上げ、平成23年度の基本方針とし、町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、平成23年度の施政方針といたします。

平成23年度 徳之島町「学士村塾」に参加してみませんか

【実施の趣旨】

かつて徳之島町には、亀津の「学士村」を中心に、東京大学をはじめとする旧帝国大学出身者を多く輩出した「ヤンキチシキバン」の教育、子育ての教育風土があり、親の教育熱や子どもの学問に対する探求心は極めて旺盛でした。

このことから、現在の本町の児童生徒の学力向上を図り、自主学習の習慣を定着させる機会の一つとして、平成21年度から「学士村塾」を設置しており、平成23年度は次のとおり実施いたします。

【実施期間】 平成23年5月7日（土）～平成24年3月10日（土）

（ただし、夏季・冬季・春季の長期休業日の実施については検討中）

【参加対象】 町内の小・中学校の児童生徒

【実施日程・内容】

- ＊ 実施期間・時間……毎週土曜日9：00～12：00（3時間）を原則とする。
- ＊ 学習形態……基本的には自主学習の場とする。
- ＊ 経費等……児童生徒からは徴収しない。



【実施場所等】

教室名	実施場所（予定）	対 象 校
中区教室	中区公民館	尾母小中学校・亀津小学校・亀津中学校
東区教室	東区公民館	亀津小学校・亀津中学校
亀徳教室	亀徳地区振興センター	亀徳小学校・亀津中学校
神嶺教室	井之川公民館	神之嶺小学校・井之川中学校
母間教室	大当生活館	母間小学校・東天城中学校
花徳教室	前川生活館	花徳小学校・東天城中学校
山手教室	山公民館	山小学校・山中学校・手々小中学校

※各教室定員に満たない場合や定員を超える場合は近くの教室と調整します。

【募集方法・その他】

- ＊ 各学校から、募集案内並びに申込用紙を配布します。案内に詳細を記載しておりますので、よくお読みのうえ、各学校をとおして申込を行ってください。
- ＊ 募集期間は、平成23年4月6日（水）～平成23年4月15日（金）です。

平成23年度 徳之島町「学士村塾」の塾長（管理・指導者）募集

各地区で、学士村塾の塾生のお世話をしていただける方を募集しています。子どもたちの学力向上や健全育成に意欲のある方は、平成23年4月15日（金）までに、徳之島町教育委員会学校教育課（☎82－1308）までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 徳之島町教育委員会 学校教育課 ☎82－1308

＜学習関係＞（名前順不同・学年は昨年度の学年です。）

- 南日本「新聞」感想文コンクール 尾母小学校 帖佐果歩（小2・1席） 帖佐芽依（小4・3席）
○奄美市美展 山中学校 古田佳奈（中1 名瀬ライオンズクラブ賞）
○家庭の日標語・絵画コンクール 尾母小学校 帖佐芽依（小3 優秀賞・標語、絵画）
○ハブ咬傷予防対策ポスターコンクール 神之嶺小学校 本山美咲（小1）
○県児童生徒作文コンクール 尾母小学校 櫻木慎也（小1・県特選） 帖佐果歩（小2 県特選）
亀徳小学校 安田蓮楓（小2・県特選）
東天城中学校 芝 幸多（中3・県特選） 学校賞 尾母小学校
○「ごはん・お米とわたし」作文コンクール 亀津中学校 久林夏花（中3・JA県中央会長賞）
○地域が育む「かごしまの教育の県民週間」ポスター原画 岩山吉紀（小4・特選）
○徳之島町「歯の標語」 加 真帆（中1・最優秀賞）
○英語検定 準2級 亀津中学校 川上有花（中2）
3級 亀津中学校 清なつ実（中3） 東佳樹（中3） 富杏沙（中3）
久林夏花（中3） 四位美幸（中3） 川信和（中3） 宮本陽平（中3）
石原田百恵里（中3） 小杉笑里（中3） 東天城中学校 芝 幸多（中3）
○漢字検定 2級 東天城中学校 芝 幸多（中3）
準2級 井之川中学校 水野花怜（中3）
3級 亀津中学校 川信和（中3） 清原梓（中3） 久林夏花（中3） 四位美幸（中3）
富杏沙（中3） 富田晃成（中3） 井之川中学校 盛田千束（中3） 東天城中学校
土持千穂（中3） 嶺山早苗（中3） 尚春花（中2） 濱田美羽（中2） 山中学校
迫田龍之介（中2） 永長真梨菜（中2） 田袋香菜（中3） 吉山くりすちな（中3）
○奄美教育実践記録 学校賞 亀津小学校 神之嶺小学校
○町中学校弁論・英語暗唱大会 弁論の部 井之川中学校 久保美波（中3・最優秀賞）
英語暗唱の部 山中学校 大城ちあき（中3・最優秀賞）
○平成22年度「いきいき教育活動表彰」県表彰 亀徳小学校 太村健二（小5）
花徳小学校 徳田龍太郎（小4）
- 





徳之島産を召し上げれ

「徳之島産をひたすら食する夕べ」が2月19日、町生涯学習センターホールで開催されました。

県職員を中心とした、徳之島産をひたすら食する夕べ発起人が主催したもので、会費制で集まった約300人が参加しました。

会場には、徳之島の食材を使った郷土料理や総菜、お菓子、黒糖焼酎など約100種類が並び、参加者たちは思い思いの徳之島の味に舌鼓を打っていました。

また、黒糖焼酎の利き酒やバンド演奏などもあり、舌と耳で徳之島を満喫したようでした。



たくさんの人でにぎわいました

島の心を見直そう

第25回島口島唄の祭典が2月20日、町生涯学習センターホールで開催されました。

島口と島唄の文化継承を目的として毎年開催されているもので、今回も子どもからお年寄りまで、幅広い年齢の方が参加しました。

舞台発表では、亀津の武田孝光さんによる島口「アンバシヨメン」を皮切りに、14組が物語に富んだ島口や島唄を披露しました。

軽快な島口で語られる物語や、島唄の心地よい音色に、会場は笑いとおどろきであふれていました。



尾母小中学校による島唄「島育ち」

たなかんで金銀銅を受賞

2月9日に奄美市で開催された「平成22年度奄美群島タンカン品評会」の入賞報告に2月24日、受賞者が役場町長室を訪れました。

奄美群島たなかん品評会へは、奄美群島9市町村から44点が出品され、外観や糖度などで入念に審査されました。

徳之島町からは10点が出品され、金賞・銀賞・銅賞を受賞するなど徳之島たなかんの品質の高さがうかがえました。

【奄美群島たなかん品評会結果】
金賞 幸 健一 (亀津)
銀賞 豊永 八郎 (井之川)
銅賞 加島 富次郎 (井之川)



受賞されたみなさんおめでとうございます

ばれいしょ「春一番」をPR

JAあまみによる「新じゃがまつり」が2月19日、20日、鹿児島市のJA県経済連農畜水産物直売所「おいどん市場与次郎館」で開催され、連日たくさんの人でにぎわいました。

徳之島産ばれいしょ「春一番」のPRとして初めて鹿児島市で開催されたもので、ばれいしょの詰め放題や新じゃが汁の無料配布などがあり、どちらも行列をつくるなど人気を集めていました。

また、島唄の演奏などもあり、ばれいしょとともに徳之島の文化もPRする場となりました。



ばれいしょ配布には行列ができました



自慢の弁当を持ち寄っての昼食会

役場で「弁当の日」

食育推進の一環として、2月18日に徳之島町役場職員による「弁当の日」が行われました。

昨年9月に続き2回目となった「弁当の日」には、農政課を中心とした約30人が参加し、それぞれが買入物から調理までを行った手作りの弁当を持ち寄りました。今回は、徳之島のばれいしを使った料理を一品加える企画もあり、コロッケや炒め物などのおかずが弁当に華をそえていました。

町では、毎月19日の食育の日に合わせて「弁当の日」を推進していく予定です。

学士村塾閉校式

平成22年度徳之島町学士村塾閉校式が3月12日、町生涯学習センターで行われました。

今年度の学士村塾には、町内の児童生徒168人が参加。約1年間にわたり、毎週土曜日に8地区の教室に通い自主学習に取り組みました。閉校式では、秋武教育長が「将来のために力をつけるための学士村塾。これからも継続して家庭学習を」と式辞を述べました。また、皆勤賞18人への表彰状授与や、各教室による学習成果発表もあり、一年間の学習を締めくくりました。



山教室の児童による論語の素読

明星大学野球部が合宿

東京都日野市などにキャンパスを持つ明星大学硬式野球部が、2月22日から3月11日までの日程で、町健康の森総合運動公園野球場などで合宿を行いました。

明星大学硬式野球部は、首都大学野球連盟の二部リーグに所属する野球部で、今回が初の徳之島合宿となりました。合宿では、2回に分かれて約70人が参加し、健康の森総合運動公園を中心に走りこみやバッティングなどの練習を行いました。

明星大学の今後のご活躍をお祈りいたします。



実戦形式の練習も行われました

さらば学び舎

町立中学校の卒業式が3月15日に行われ、町内5中学校132人が小学校6年・中学校3年の義務教育を終え、高校をはじめとした進路へと新たな一歩を踏み出しました。

各中学校とも、卒業式では校長先生から一人ひとりへと直接卒業証書が手渡され、在校生や保護者のあたたかい拍手に見送られながら3年間慣れ親しんだ学び舎を後にしました。

【平成23年町立中学校卒業生数】
亀津中学校83人／井之川中学校16人／東天城中学校22人／山中中学校7人／手々中学校4人



亀津中学校卒業生による合唱



九州電力からお願い

鯉のぼりは電線に

ふれないところで

お子さまの健やかな成長を願う鯉のぼり。次のようなことに気をつけて鯉のぼりをあげましょう。

- ・鯉のぼりは電線から十分に離れた安全なところに立てましょう。

- ・鯉のぼりのポールを立てるとき、倒すときは、電線に触れないよう注意しましょう。

- ・もし、鯉のぼりが電線にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、すぐに、最寄りの九州電力営業所までご連絡ください。

クレーン作業を行う前に

次のようなことに気をつけて

作業をしましょう。

- ・クレーン作業等を行う前には、付近の状況をよく観察して電線路に接触する恐れがないか確認する。

- ・配電線の近くで作業を行う場合は、九州電力に連絡して建設用防護管を取付けて安全措置が講じられた後に作業を行う。

- ・電線路近くでの作業では、専任の監視者を設け単独作業を行わない。

- ・車両の移動を行う場合は、必ずブームの収納、ダンプカー等については荷台の下げを確認して移動する。

■問い合わせ先

九州電力㈱徳之島営業所

☎ 0120・986・815

米トレーサビリティ

制度について

米トレーサビリティ法（米

穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律）が制定され、昨年10

「平成23年度全国戦没者追悼式」参列遺族の募集

全国戦没者追悼式に参列を希望される遺族の方を募集します。

■日時

平成23年8月15日（月）

※前日から団体行動

■場所

日本武道館

■対象者

- ・戦没者の配偶者並びに三親等内の遺族（過去参列していない方を優先する）

- ・一般戦死没者の配偶者並びに三親等内の遺族（過去参列していない方を優先する）

■申込期間

平成23年5月6日（金）

～平成23年5月31日（火）

■申込先

徳之島町住民生活課

■問い合わせ先

県庁社会福祉課

☎ 099・286・2830

町住民生活課（内線121）

☎ 82・1111

軽自動車税の減税について

身体に障がいがある方が所有する（18歳未満の場合、知的障がい者又は精神障がい者にあつては生計を一にする方が所有する）軽自動車等で、もっぱら当該身体障がい者等のために使用する場合は、地方税法、及び町税条例の規定により軽自動車税減免の適用が受けられる場合がありますので、納期限の7日前（平成23年4月25日）までに申告してください。（ただし、1台に限る）

※普通自動車税を免除申請している方はできませんのでご了承ください。

必要なものは、

- ・減免申請書（役場にありま
- す）・印鑑・納税通知書・運転免許証・身体障がい者手帳等・その他必要書類

■問い合わせ先

徳之島町税務課(内線143)

☎ 83・1111

花徳支所

☎ 84・0048

本寄贈のお知らせ

1月9日に開催された、「健康がごしま21推進セミナー」でパネリストを務められた、内田産婦人科医院 助産師 内田美智子さんと西日本新聞社 佐藤弘さんより本の寄贈がありました。

図書館にありますので興味のある方はご覧になってください。



パスポートの申請はお早めに！

徳之島町では、県からの権限移譲により、昨年4月1日からパスポートの申請・交付業務を行っております。

徳之島町に住民登録のある方は、徳之島町役場での申請となり、県の窓口は利用できません。

パスポートの申請から交付までの所要日数は10日(土・日・祝日、年末年始休暇を除く)となっております。また、申請の際には、必要な書類をそろえていただく必要がありますので、海外へ旅行に行く予定のある方は、期間に余裕を持って申請してください。

詳しくは役場企画課までお問い合わせください。

■問い合わせ先

徳之島町企画課(内線222)

☎ 82・1111

奄美群島で地域の活性化に取り組んでいるみなさまを応援します！

奄振事業「共生・協働による地域活性化推進プロジェクト事業」の募集について

みなさまのアイデアと創意工夫による地域の活性化や課題解決に取り組む活動を応援することで、住民や関係機関との幅広い協働による奄美群島の持続可能な自立的発展を目指す事業です。

1. 応募できる団体

NPO法人、ボランティア団体、地域の自治会その他民間企業

2. 対象となる事業

地域の活性化や課題解決を図るため、上記団体が実施する事業で主に、農業、観光／交流、情報通信に関する事業

3. 募集期間

平成23年4月1日(金)～平成23年4月30日(土) (当日消印有効)

4. 助成額

助成対象経費の10分の6以内(60万円を上限)

※市町村の判断により10分の4の範囲で上乗せすることができる。

5. 事業の実施期間

平成23年6月下旬(予定)から平成24年3月31日まで

6. 審査・選考方法について

応募書類をもとに審査・選考を行ったうえで助成団体を決定します。

7. 募集要綱等の配布場所

奄美群島広域事務組合のホームページから募集要項・応募様式をダウンロードできるほか、奄美群島広域事務組合、市町村役場にて配布しています。

8. 応募先

徳之島町役場 企画課 ☎ 82-1111 (内線221・222)

9. 問い合わせ先

奄美群島広域事務組合 ☎ 0997-52-6032 Email:amashin-kyo@ammi.or.jp



児童扶養手当及び特別児童扶養手当をご存知ですか？

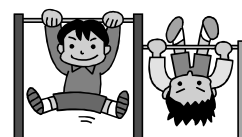
児童扶養手当…父母が離婚するなどして父又は母の一方からしか養育を受けられない一人親家庭などの児童のための手当。一人親家庭以外でも父、母に代わって児童を養育している方。父母に重度の障害がある方等も手当を受けることができます。

特別児童扶養手当…精神又は身体に障害を有する20歳未満の児童の保護者に支給される手当

上記にあたる場合でも手当が支給されない場合もありますので、まずは保健福祉課まで問い合わせ・相談下さい。

＜平成23年度より手当額が下記のとおり改正となりました＞

	平成22年度	平成23年度
児童扶養手当（全部支給）	41,720円	→ 41,550円
（一部支給）	41,710円	→ 41,540円
	～9,850円	→ ～9,810円
特別児童扶養手当（1級）	50,750円	→ 50,550円
（2級）	33,800円	→ 33,670円



【お問い合わせ】徳之島町 保健福祉課 児童福祉係 ☎ 82-1111（内線133）

子宮がん・乳がん検診

毎日、仕事や育児・家事に頑張っている女性のみならず
自分の健康が後回しになっていませんか？
年に一度、女性だけの検診です。
あなたのため、あなたの家族、大事な人のために・・・
検診を受けてみませんか。



【対象者】子宮けいがん：20歳以上の女性、乳がん：40歳以上の女性

【日程・場所】子宮けいがん・乳がん検診ともに下記の日程・場所で受診できます。

保健センター：4月20日・21日・22日（午前のみ）25日・26日

花徳生活館：4月27日・28日（午前のみ）

【問い合わせ先】徳之島町保健センター ☎ 83-3121

かしこい消費者になる講座（その9）

だまされないで！悪質商法 その5 「次々販売」

●「次々販売」とは？

一人暮らしの高齢者などに対して、次々と契約を結ばせる販売方法です。被害にあった人の名簿が悪質業者間に流れ、「まだお金がだまし取れる」と何度も狙われます。複数の業者に勧誘される事もあります。

（例：リフォーム工事、床下換気扇、床下の支柱補強工事など・・・）

突然の訪問者は安易に家にあげないようにしましょう！

●「次々販売」への対処法は・・・

- ・突然の訪問者は家にあげない。
- ・業者の言葉をうのみにせず、自分でも関係機関などに連絡するなどして調べる。
- ・すぐ契約をせず身近な人と相談して、必要でないものは、はっきり断る。



困った時は
すぐ相談

消費者ホットライン

☎ 0570-064-370

徳之島町消費生活相談室

☎ 82-1111（内線311・222）





歯っぴージャー

子どもたちの健やかな成長のために、子どもたちの歯をむし歯から守りたいということで、課題を5歳児のむし歯数 32本から → 15本に という目標を立て、22年度も活動してまいりました。

2月20日（日）に、22年度最後の第5回われんきゃ歯っぴいクラブ（歯科保健協議会）を開催し、4つのチームで22年度の活動の評価と来年度の活動計画について話し合いを行いましたので、その結果をお知らせいたします。

【目標を達成するための4つのチームの活動について】



仕上げんジャー

仕上げんジャーチームの活動

目標：仕上げみがきを毎日実施する 39%→60%に

- ★仕上げみがきカレンダーの作成・配布
- ・保育園・幼稚園を通して家庭に配布し、仕上げカレンダーを活用し、仕上げみがきの習慣をつけてもらう。（22年度実施、23年度も継続して実施します）



かむんジャー

かみかみチームの活動

目標；おやつが1日3回以上 3%→0%に
乳酸菌飲料を週3回以上飲む 15%→0%に

- ★飲み物に含まれる糖分媒体の作成
（糖分媒体が完成し保健センターに展示中貸し出しも可能です）

★リーフレットの作成

23年度はおやつについてのリーフレットを作成しむし歯予防に役立つ情報をお伝えします。

- ★保育園、幼稚園の保護者参観、祖父母参観等に出向きおやつについてお話しします。



フックんジャー



フックん、けんちゃんチームの活動

目標；フッ素（フッ化物）塗布の経験を年に2回以上 52%→80%に
年に2回以上の定期検診を受ける 23%→53%に

★フッ化物に関する媒体作成

媒体が完成したので23年度は活用しフッ化物に関する情報を提供する。

- ★保健センターの歯科相談日の周知について
保育園、幼稚園の園便り等に記載しています。
23年度も継続して依頼します。

1515チームの活動

目標；われんきゃ歯っぴいクラブの活動を知っている人を増やす 0%→80%に

- ★キャラクター、キャッチコピーを作成しPR活動を行う

キャラクター、キャッチコピーを利用し老人クラブ・女性連総会、保育園、幼稚園の保護者参観、祖父母参観等でPR活動を実施してきました。23年度も継続して行います。

★防災無線の活用

われんきゃ歯っぴいクラブで毎月15日を「われんきゃ歯っぴいday」と決め、23年度は毎月15日に放送する予定です。

- ★広報誌掲載・・・23年度も掲載しますので見てください。



4月の歯科相談日

4月14日（木） 受付時間 13:30～14:00 保健センターにて

・妊婦さん、幼児、一般の方・3か月以上歯科検診・フッ素塗布を受けてない方・歯科相談のあるかたお待ちしております・・・

【問い合わせ先】 われんきゃ歯っぴいクラブ事務局（保健センター内） ☎ 83-3121

けんちゃんジャー



我が家のアイドル紹介



さくじょう ななこ
作城 那奈子ちゃん

(平成21年3月30日生 昌也さん・奈己さんの長女 亀津)
家族4人の宝物。みんなに可愛がられてたくましく育っています。

※我が家のアイドルは随時募集中です。詳しくは役場企画課までお問い合わせください。



しらさか ゆうみ
白坂 優美ちゃん



しらさか ゆうき
白坂 優貴ちゃん

(平成21年9月4日生 貴仁さん・明子さんの次男・長女 亀徳)
優貴ちゃんへ 負けず嫌いで甘えん坊なお兄ちゃん。強くたくましく育ってください。
優美ちゃんへ 食いしん坊で甘えん坊な妹優美。優しい女の子に育ってください。

平成22年度「徳之島町教育行政の点検評価報告書」の公表について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務付けられました。

徳之島町教育委員会では、法令にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため教育行政(事務・事業)の点検評価を実施し公表することといたしました。

つきましては、下記のとおり公表いたしますので閲覧等を希望される方はお申し出ください。

- 1 閲覧場所 徳之島町生涯学習センター 学校教育課(1階)
- 2 閲覧期間 平成23年4月1日～平成23年6月31日まで
午前8:30～午後5:00まで(土・日・祝日を除く)
- 3 問い合わせ先 徳之島町教育委員会 学校教育課 ☎ 82-1308



戸籍の窓



◆ご結婚おめでとう

南	満男	亀津
直谷	美穂乃	亀津
田畑	勇哉	徳
藤田	まどか	徳

◆こんにちは赤ちゃん

出生児	保護者	住所
片野坂 優真(義仁)	亀津	所
池田 悠愛(秀二郎)	亀津	津
盛 ころ	(勇樹)	亀津
保 あいら	(大樹)	花徳
森山 佳典	(昭吾)	亀津
迫田 秀斗	(孝治)	亀津



◆謹んでご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年齢	住所
屋島 忠久	74	母間
前田 アキ	94	亀津
仲 福榮	76	亀津
繁山 キヨ	102	山
稲 六助	85	手々
町田 シマ	103	井之川
豊田 重二	83	亀津
政田 トヨ	91	手々
西山 シカ	89	手々
綱谷 哲夫	77	山
向井 秀仁	61	花徳
稲田 静子	81	諸田
幸 與名豊	90	亀津
大村 綾子	74	母間

※2月届出分のうち、広報紙に掲載可の方のみ掲載しています。

※広報「とくのしま」3月号12ページ、各種検診のお知らせに訂正がありました
「子宮がん検診対象者以上の女性」正しくは
子宮がん検診対象者 20歳以上の女性」です。